

ふるさととくぢ



芸術の秋だ
ニャ〜



色鉛筆の画家
吉村画伯展覧会へようこそ

目次

- 里山だより・歴史と民俗…2P
- とくぢで輝く・ご縁をつなぐ徳地和紙…3P
- 行政だより・図書館だより…4P
- 行事カレンダー・こんにちは!赤ちゃん…5P
- 里山レシピ・ふるさと再発見…6P



(2017年9月末現在)





仲間とツーリング ぶちかっこええ!

広島、防府、徳地の仲間とツーリングの途中に、愛鳥林の木陰で休憩中のところをお邪魔しました。徳地は意外と交通の便がいい(?)ってことでしょうか。

ツール・ド・○○ばやりですが、自転車やバイクをよく見かけますね。徳地の山坂が最適地ではないでしょうか。気を付けて行ってらっしゃい。

(取材：徳地づくり達人塾)



防災のキーワードは 昔の地形や災害履歴を「知る」 今現在どうであるかを「見る」 知識を次の世代へ「伝える」

市の防災危機管理課主催で防災士による学習会が行われ、防災活動の具体例などを学びました。

徳地内外から多数の参加者があり、防災意識の高まりを感じました。

(徳地地域づくり協議会)



表紙の写真から



吉村大星さんの絵に 改めて感激!

山口銀行堀支店で小品が掲示され、改めて思いました。5月号「徳地で輝く」で紹介した吉村大星さんの絵を表紙全面で紹介したいな〜と。4月に取材したときに描き始めていたスーパーカーも完成していました。こんな精緻なタッチの絵が色鉛筆だなんて・・・改めて感激して帰りました。

(取材：徳地づくり達人塾、池田特派員)

馬関(下関・赤間関) 攘夷戦
攘夷論に押しまくられた幕府は異国船掃蕩期限を文久三年(一八六三)五月十日と朝廷に奏上したことで、長州藩の攘夷派は沸き立った。
攘夷期限五月十日の当日にアメリカ商船ペンブローック号がやってきたが、発砲して追い払った。
長州藩にとつては、運命の日である。二十三日、仏艦キーンシャン号を砲撃。続いて、二十六日にはオランダ軍艦メデューサ号を撃った。相手は突然のことで戦う意思のないまま逃げていった。
長州藩が戦勝に酔いしれる時間は長く続かなかった。
六月に入ると、報復攻撃のため、一日、まずアメリカ軍艦ワイオミング号がやってきた。
海戦は約一時間にわたり、五十五発の弾丸を撃った。そのため、癸亥丸は大破。庚申丸は撃沈。壬戌丸は大破、沈没した。長州側の戦死者八人、ほかに重軽傷者多数。



ワイオミング号も二十発ばかりの弾丸を受け、舷側には六つもの大穴があき、戦死者六人、重軽傷者四人を出し、横浜に引き上げた。
五日、フランス軍艦セミラミスとタンクレードが襲ってきた。フランス東洋艦隊の旗艦で、大砲三十五門を搭載した戦艦だ。
長州の三隻の軍艦は、一日の海戦で大破・沈没して役に立たなくなっている。力に恃む光明寺党も四散し、長州藩兵は意気消沈して、前田砲台は氏家鈴助、飯田行蔵、佐々木又四郎、山内賢之允、山田源蔵ら若い下級武士と銃隊数組だけである。
フランス艦は、六十ポンドライフルを五分ごとに一発、一時間発射。一弾が前田砲台に命中し、照準手山内賢之允は無残な最期を遂げた(町史、維新志士参照)。
海上からの攻撃を終えると、陸戦隊二百五十名を上陸させて砲台・火薬庫を破壊し、民家までも焼き払った。
フランス陸戦隊は大した抵抗も受けず、長州軍は敵に後ろを見せ逃げ散ったのである。
藩政府は大変な動揺。もしフランス陸戦隊にどどん攻め立てられたら、手の施しようがない。
ここで高杉晋作が登場して、奇兵隊を中心とする諸隊をつくるのである。

とくちで輝く

徳地で牛を飼う…
～少年の頃の夢を叶えた～

山口市徳地船路
山内重信さん(65)



■何と広々とした牧場…
船路の八幡様の近くに、牧場があるらしいという話を聞いて探しに出かけてきました。この写真に写っている風景全部が山内さんの黒毛和牛13頭の放牧場です。
真ん中の一番高い山の向こう側まで広がっているそうです。抜け道もないため、誰も入ってこない自然に守られた空間です(猪や熊が出るそうですが)。以前は、近くの家でも牛を飼っている家があったそうですが、今では山内さん一人です。

■山口型放牧の前進的経営
畜産の知識など全くないままお話を伺っていると、驚くことばかりです。この広い場所に周年自然放牧、自然交配で飼育しているといえます。もちろん、草が少なくなる時期には飼料を運び、難産で苦しむ牛もいる…。

1989年頃から始まった山口型水田放牧のモデル事業よりも40年も前から、亡くなった父親と苦労しながら放牧型の飼育を続けてきました(吉田光宏著「放牧維新」家の光協会)。



■少年の頃の西部劇の風景が実現
朝5時頃から夜8時頃まで、牛を相手の仕事は休む間もありません。今は後継者不足に悩みますが、若い頃は投資した資金回収に苦労したことも多かったとか…。



でも、少年の頃に見たワイアットアープなどの西部劇に出てくる風景が、自分の牧場で実現できたことを笑顔で話す姿は、その頃に戻ったかのようでした。山内さんのスマホには、四季の風景や牛の姿がたくさんあって、素晴らしかったのですが、ご紹介できなくて残念です。

(取材：徳地づくり達人塾
池田特派員)

ご縁をつなぐ 徳地和紙

徳地に来て3回目の秋を迎えました。白鷺が舞う青空と金色に輝く稲穂の海は何度見ても美しく、あちこちで写真を撮りました。

■とくち伝統芸能まつりでアートな秋を♪

10月15日に開催される徳地伝統芸能まつりでは、色々なグループによる徳地和紙を使った作品の展示があります。私と地域おこし協力隊の千々

松隊員は、山頭火の書やインテリアパネル、革と和紙を組み合わせたアイテム等をご紹介します予定です。私が徳地に来て感動したのは、昔ながらの和紙作りが今も続けられているという点です。紙漉きを学びはじめて、和紙は、徳地の自然の恵みと、先人の知恵と技術の結晶だと思ふようになりました。その気持ちを込めて作った作品を、ぜひご覧ください。



▶活動先で栽培している楮です。こんなに大きくなりました!

TOKUJI TREASURE HUNTER
山口市地域おこし協力隊
船瀬春香

行政だより

「出張年金相談会」のご案内

山口年金事務所職員による相談会が開催されます。
年金について知りたいこと等この機会に聞いてみませんか？（予約不要）

- 日時 平成29年11月10日（金）
10:00～15:00
- 場所 徳地総合支所玄関口ビー
（徳地堀1744番地）
- 内容 国民年金保険料の納付相談、年金受給に関する諸手続き等
- 持参品 年金手帳・年金証書等、本人であることを確認できるもの（運転免許証等）、本人以外が相談する場合は本人が記入した委任状

問合せ先

山口年金事務所 ☎083-922-5660
徳地総合支所 総合サービス課 ☎52-1113

おめでとうございます

民生委員制度創設100周年大会において山口県民生委員児童委員協議会会長表彰（在籍8年以上）を受賞されました。

表彰日：平成29年8月30日（水）
場所：山口市民会館



写真向かって左から
藤田義正さん（藤木）、藏重秀雄さん（小古祖）、
原田真理さん（柚木）

山口県消防操法大会が開催されました

9月16日（土）に山口県消防学校（山口市鑄銭司）で開催され、基本操法の部（ポンプ車）の種目に八坂分団が
出場されました。

出場選手の皆さん、サポートされた皆さん大変お疲れさまでした。



平成29年度山口市民体育大会 が開催されました

9月10日（日）に維新百年記念公園、やまぐちリフレッシュパークで開催され、徳地地域からは、陸上レクスポーツ・ソフトボール・卓球の競技に参加しました。

参加された選手の皆さん大変お疲れさまでした。



◆◇図書館だより◇◇ ☎52-0043

- 【新しく入った資料】・・・・・・・・・・・・・・・・
- ◎文学 マスカレード・ナイト／東野 圭吾
 - ◎一般書 仕事消滅／鈴木 貴博
 - ◎実用書 かわいいやさしい消しゴムはんこの仏さま／nihhi
 - ◎ティーンズ 君の知らない方程式／山本 弘
 - ◎物語・児童書 源氏、絵あわせ、貝あわせ／小森 香折、染谷 みのる
 - ◎絵本 ぼくのおとうさんとおかあさん／みやにし たつや

- 【企画展示】・・・・・・・・・・・・・・・・
- ◎今月のテーマ 詩 - ころの窓 -
 - ◎絵本 神様や魔法使いが出てくる絵本
 - ◎一般 ごはん☆パン
 - ◎児童・ティーンズ ハハハロウィン／たのしい秋

【お知らせ】・・・・・・・・・・・・・・・・

11/5（日）にとくち図書館まつりを開催します。
ブックリサイクル・おはなし会・雑誌の付録でお楽しみ抽選会などを行います。ぜひお立ち寄りください！

休 図書館 10月／16・23・26・30
休館日 11月／3・6・13

行事カレンダー

(10月15日～11月15日)

10月

16	すこやかサロン (柚野分館)
月	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
17	集団がん検診・特定健康診査・後期高齢者健康診査
火	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
17	憩いステーションとくち
火	(問) 地域活動支援センターやまぐち ☎083-986-2832
18	集団がん検診
水	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
18	認知症家族会 (やすらぎの会)
水	(問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
19	健康相談 (串分館)
木	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
22	森林セラピーガイドツアー～健康森歩きとお灸講座～
日	(問) 森の案内人の会事務局 (徳地農林振興事務所内) ☎52-1122
22	集団がん検診・特定健康診査・後期高齢者健康診査
日	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
24	集団がん検診・特定健康診査・後期高齢者健康診査
火	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
25	集団がん検診
水	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
29	出雲地区ラジオ体操・ウォーキング
日	(問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217
30	あいあいサークル「自然の家に遊びに行こう！」
月	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
31	ウォーキング教室
火	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114

11月

2	健康相談 (徳地保健センター)
木	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
4～5	徳地文化展
土～日	(問) 徳地文化協会事務局 ☎52-0217
5	徳地フェスティバル2017
日	(問) 徳地フェスティバル2017実行委員会 ☎52-0217
8	母子健康相談
水	(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
12	森林セラピー山口ランドオープン10周年記念講演 「Feel Nature! ～森へ、山へ、一歩ずつ～」
日	(問) 森の案内人の会事務局 (徳地農林振興事務所内) ☎52-1122
12	第8回ふるさと探訪in串
日	(問) 徳地地域交流センター串分館 ☎54-0222

子育て支援センター すくすくハウス予定 ☎52-0662

- 10月17日(火) 音で遊ぼう???
- 19日(木) 親子ヨガ
- 20日(金) 園ランチDAY
- 11月2日(木) ままなび2
- 10日(金) リズムボールで遊ぼう

楽しく面白い時間を過ごしましょう

島地保育園内子育て支援室 のびっこ島地予定 ☎54-0563

- 10月19日(木) 戸外遊び
- 25日(水) 戸外遊び
- 30日(月) 磯村先生とえいごであそぼう(秋)
- 11月2日(木) おさんぽ
- 9日(木) 先輩ママ(山永さん)とフラダンス
- 10日(金) 親子ふれあい遊び

🍒 こんにちは! 赤ちゃん 🐣



おがもとあやか ☆岡本彩花ちゃん【八坂地区】

☆年齢: 0才8ヶ月 (写真撮影時)

☆性別: 女の子

歌と絵本が大好きです。
元気にすくすく育ってね。

+ 休日・夜間診療のご案内 (防府市内)

- * 山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。
【内科・小児科】(受付 8:30～11:30、13:00～16:30)
防府市休日診療所(鞆生町) ☎0835-24-4172
【歯科】(受付 8:30～11:30)
防府市休日診療所(鞆生町) ☎0835-24-4172
【外科】当番医療機関(診療 9:00～17:00)
10月15日(日) くらしげ整形外科クリニック(田島) ☎25-0076
22日(日) 黒田クリニック(田島) ☎24-9090
29日(日) 寿町クリニック(寿町) ☎27-5577
11月3日(金) 緑町三祐病院(緑町) ☎22-3145
5日(日) たかきクリニック(台道) ☎33-1050
12日(日) ながみつクリニック(中央町) ☎20-1230

【夜間救急病院】(平日、土日にかかわらず)

病 院 名 (場所)	電話番号	10月・11月の開診日						
三田尻病院(萩区)	☎ 22-1110	15	20	25	30	4	9	14
松本外科病院(天神)	☎ 22-1409	16	21	26	31	5	10	15
防府胃腸病院(駅前町)	☎ 22-3339	17	22	27	1	6	11	
桑陽病院(車塚町)	☎ 23-1781	18	23	28	2	7	12	
緑町三祐病院(緑町)	☎ 22-3145	19	24	29	3	8	13	



ふるさと再発見

～重源上人の里みてある記～



こだわりの味自慢!

生産者「藤本嘉門さん」

10年ほど前から野菜作りを始め、今では何より楽しみになっています。夫婦で朝早くから収穫し、南大門に持ち込みます。

肩や膝の痛みはあるけれど体の続く限り作りたいとのこと。草取りのされた畑は、見事でした。小松菜は鉄分を多く含む緑黄色野菜です。毎日でも使いたい食材ですね。



recipe!

小松菜と油揚げの卵とじ



材 料

小松菜	一袋
卵	2個
油揚げ	1枚
水	150cc
めんつゆ(2倍)	大さじ2

作り方

- ① 小松菜と油揚げを2～3センチに切る。
- ② 鍋に小松菜の茎の部分と水を入れ軽く煮る。
- ③ ②に葉の部分と油揚げとめんつゆを加え中火で2～3分煮る。
- ④ ③に卵を加えさらに2～3分煮る。

(取材/レシピ: 徳地づくり達人塾)

(七) 三谷の秀蓮坊跡 (寿福院)・奈良原

今回は梶畑の袈裟岩堂を案内しましたが、梶畑から真っ直ぐ南に延びた山道を登り一升峠を越えると奥谷の寿福院に出ます。この南北に伸びた山道は、滑や藤ヶ谷方面の奥地で伐採した東大寺再建の用材を搬出するために開発されたであろう林道で、峠にロクロ口を仕掛けて巨木を巻き上げ三谷川に出す、主要な搬出ルートです。寿福院あたりはその三谷側の拠点となったところでしょう。ロクロ口の地名が残っています。

寿福院は寺伝によると、俊乗房重源上人のお弟子秀蓮房源覚上人が、羽高の山に建立した秀蓮坊というお寺の古跡を、万治二年(1659)に現在地に移し、寺号を寿福院と改めたということです。その秀蓮坊跡は三谷川を挟んで寿福院の南側、羽高の山尾根の山腹にあり、今は地名となって残り、堂宇や境内の後は平坦で、池の跡がうかがえるだけのことです。



寿福院側から見た正門

秀蓮坊の境内からは、北にロクロ口を仕掛けた一升峠から寿福院コースを、西側には奈良原を一望におさめ、用材運搬の様子を把握し、三谷一帯の杣事業を采配していたのでしょう。秀蓮坊跡には是非登ってみたいと、前々から思っていました。今の体調ではかなわぬ夢となりました。

奈良原のバス停のすぐそばの坂を少し上がると、右手に石ころを集めた上に千人塚の宝篋印塔があります。因みに法光寺にも杣事業の終わりに、事故で亡くなられた方がたを弔うための千人塚と米とぎ池があります。ここには千人塚の近くの民家の裏に、米とぎの池があります。供養の時、この池の水で米を研いだということです。

奈良原は、奈良から来た職人が滞在していたので、この地名がついたといいますが、職人集の宿坊や飯場があった所でしょう。木地屋の地名も、木で食器などの生活用品を作る木地屋職人の工場があった所でしょう。

三谷をさらに下り、国木のバス停から奥に入る道を進むと、ずっと奥の山肌に木が生えていない部分が見えますが、北谷の板落とって、切り出した大木を山の上から滑り落とした場所で、今もって山の斜面に木が生えていません。

(法光寺 東堂 松尾宗茂)